

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
長野市	16 篠ノ井有旅・山布施地区	令和元年12月20日	令和3年3月16日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	199.20 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	104.10 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	49.60 ha
i うち後継者未定(目処はついている)の農業者の耕作面積の合計	23.90 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	14.30 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.88 ha

2 対象地区の課題

農業従事者の高齢化が進んでおり、今後の地域農業の担い手も不足している。新たな農地の受け手の確保が必要。

※ 地区の話し合いにおいて出された意見を基に「地区の課題」を作成

3 対象地区内における中心経営体(担い手)への農地の集約化に関する方針

有旅地区の農地利用は、中心経営体である認定新規就農者のAさんが担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

山布施地区の農地利用は、中心経営体であるBさん、認定農業者のCさんが担っていくほか、他の地区からの入り作や、認定農業者等の受入れを促進することで対応していく。

※ 現在、中心経営体(担い手)として人・農地プランに掲載されている人数： 5人

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

※ 「2 地区の課題」を解決するため、及び「3 中心経営体(担い手)への農地の集約化に関する方針」を促進するために必要と思われる地区の取り組みについて記載